

# MAIL MAGAZINE

メールマガジン

## どうなる康美地区！！

### JSC 貿易部ニュース 中国編

日ごとに陽射しも強くなってきております。皆様、如何お過ごしでしょうか？

さて、すでにご存じの方も多いかと思いますが、先月三十数社ある康美地区の工場が突如強制的に生産停止させられるという事件が発生しました。

6月6日（木）の真夜中、取引先からWeChat（ウィチャット）で

**「康美地区の石材工場に、南安市の環境局や公安の役人がいきなりやってきて、すべての工場が強制的に生産停止になりましたよ！！」**  
との第一報が入りました。

翌朝、急ぎ各仕入先に連絡を取り事実関係を確認すると、本当に康美地区のすべての工場が生産停止になっているとのことでした。

康美地区工場の代表者と南安市環境局の方々が緊急会議を開き、15時ごろに一旦停止が解除され、その週の荷物分だけは生産・出荷できることになりましたが・・・

しかし、「時すでに遅し」です。（><）

金曜日の夕方に生産を再開しても、その週の出荷には間に合わない荷物が多数出てきて、結果翌週積みに延期したり、崇武地区や南安地区の工場に振り替えるなど手配に迫られました。

康美工場では、仕掛品の半製品を残したままの工場も多数ありました。（><）



翌週、6月10日（月）からは本当に工場は完全停止となりました.....

当社の現地スタッフも康美地区を訪れ詳細な調査を行いました。康美地区に入る道路では、左の写真のように「康美地区、石材業界、『整治』検査場所」という看板が立てられ、新たな原石の搬入などももちろん禁止です。

工場には見張りの役所関係者や警察も駐在し、勝手に稼働できない状態になっていました。看板の、「**整治**」という中国語ですが、「改良」「整理」の意味や「**風紀を正す**」の意味もあります。また、「**懲らしめる**」というニュアンスの意味もあるようです。

これまで康美地区の工場は、汚染水を垂れ流し、原石や残材を道路脇に放置し、騒音対策や粉塵防止の設備もせず、環境許可書もない、言わば当局の指導を無視した状態でやってきました。今回の強制停止は、政府によって、「懲らしめる」という意味もあるのだと思います。( ^\_ ^ )



写真は強制的に解体させられた工場の写真ですが、しかし、ここまで「懲らしめますか？」( ^\_ ^ )

下の写真は当社のスタッフが撮影した康美地区の工場の様子ですが、6月10日（月）以降完全に停止させられ、人影もなく閑散としていました。



一部こっそりと生産している工場もあったようですがほとんどの工場が、停止のまま二週間が過ぎました。

そして、6月24日（月）午前中、数社生産を再開したというような話も入ってきましたが、午後になって再び環境局や公安の人が工場に入り、電線を切って停止させたようです。

康美の各工場は稼働しては停止を繰り返すかなり不安定な状態です。いま各工場は換気扇や粉塵防止設備を取り付け、工場の中もきれいに整理しだし、政府からの許可書の取得のために努力しております。

下の写真は、劇的ビフォーアフター??? (笑) 換気の扇風機も!



これまで康美の工場には無かった防塵の設備が設置されています。

「7月初旬には許可書が取れるので、問題無く生産できますよ～」なんて楽観的な工場もありますが、新たな原石の搬入などは認められておらず、今後どうなっていくのか、はっきりとしたことは分かりません。

福建省では、これまでも甬田や廈門市蓮河、海滄地区など最終的に強制閉鎖させられた石材工場エリアが多数ありますから、康美地区の今後の動向にも注意が必要です。

そして、この康美の工場閉鎖が他の石材工場エリアにどのような影響をもたらしているのかですが、大きく影響が出てきています。三十数社ある康美の工場が一斉に停止したので、その注文が崇武や石井地区、その他の工場へ流れ、各工場大忙しとなっています。

合わせて6月～7月は日本からの受注もピークを迎え、且つ福建省では気温も上昇し熱中症になる職人さんが続出しており、生産速度にも大きな影響を及ぼしています。

お客様におかれましては、以上の非常事態的な状況をご理解いただき、特に納期に関しては、例年以上の余裕をみてあたっていただくよう、ご協力  
よろしくお願ひします。m( )m

さて、今月の「石」のお話は、康美つながりのお話です。ご承知の通り、康美エリアは中国山崎や康美青の産地ですが、この地域には河北省や山西省の各丁場とも強いパイプを持つ工場が多数あります。



河北省産の河北山崎や山西省産の北大青・北大黒・山西黒K5(中国クンナム)の原石を大量に持っている工場があり、これまでも日本向けにたくさんの墓石製品を出荷してきました。

これまで、これら4石種は、価格と在庫量の面で康美の工場に優位性がありましたが今回康美地区が強制停止させられたことで、これらの石種を生産できる工場の数が減っています。

貿易商社の中には、これらの石種を代替生産する工場がなく、どうしようと頭を抱えている先もあるようです……

しかし、ご安心ください！！多くの工場と強固なパイプを持ち、豊富な情報量を持つ日本石材センターでは、先にご紹介した4石種も引き続き対応が可能です。(^)

しかしながら、いまの状況をみると予想以上に早く原石を使いきる可能性もございますので、お引き合いの際は事前のご確認をよろしくお願いいたします。

今月も最後まで読んで頂き有難う御座いました。日本も、いよいよ本格的な夏を迎えます。くれぐれもご自愛くださいませ～。

2019/07/01